

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名：地域高規格道路 伊勢志摩連絡道路 一般国道167号 磯部バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：三重県		
起終点：自：三重県志摩市磯部町恵利原 至：三重県志摩市磯部町五知		延長：2.5km		
事業概要：一般国道167号磯部バイパスは、地域高規格道路 伊勢志摩連絡道路の一部を構成する道路であり、伊勢志摩地域の観光リゾート拠点との連絡強化、大規模災害時の緊急輸送道路の機能の確保、地域の活性化等を目的とした志摩市磯部町恵利原～磯部町五知までの延長約2.5kmの道路である。				
H24年度事業化	—	H26年度用地着手		
全体事業費	85億円	事業進捗率		
計画交通量	9,500台/日	供用済延長		
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.3 (残事業) 1.4	総費用：(残事業)/事業全体 66/73億円 (事業費：65/72億円) 維持管理費：0.78/0.78億円	総便益：(残事業)/事業全体 92/92億円 (走行時間短縮便益：84/84億円) (走行経費減少便益：7.0/7.0億円) (交通事故減少便益：1.3/1.3億円)	基準年：平成28年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.4(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.4(事業期間±20%) (残事業) 交通量：B/C=1.3~1.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.3~1.6(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.5(事業期間±20%)				
事業の効果等 ①地域間連携の強化 ・伊勢志摩地域における広域道路ネットワークの構築 ②観光分野の発展支援 ・志摩市へのアクセス向上によるポストサミット効果を生かす観光分野の発展への寄与が期待される。 ③救急医療活動への支援 ・第三次緊急緊急医療施設（伊勢赤十字病院）への搬送時間の短縮により、志摩地域における救急医療分野の環境改善が期待される。 ④緊急輸送道路機能の強化 ・第二次緊急輸送道路に指定されている主要地方道伊勢磯部線の代替路が形成され、志摩地域の安全性向上が期待される。				
関係する地方公共団体等の意見 伊勢・志摩連絡建設促進同盟会より国道167号磯部バイパスの早期開通を望まれている。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道167号において、第二伊勢道路（鳥羽市白木町～伊勢市二見町の伊勢二見鳥羽ライン）延長7.6kmが平成25年9月に開通した。第二伊勢道路の開通により国道167号を介し伊勢二見鳥羽ラインを経由して伊勢自動車道と繋がる広域的な道路ネットワークが形成された。また、伊勢二見鳥羽ラインが平成29年3月に無料化の予定であることから、国道167号には伊勢二見鳥羽ラインを介した大幅な交通量の転換が予想される。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約31%、事業進捗率約6%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、早期の全線供用に向け事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等 トンネルLED照明や防草対策工などにより、維持管理費抑制に努めるとともに、他事業で余剰となった道路設備（トンネル換気設備等）の流用を検討するなど、コスト縮減に努める。				

